

国語科学習指導案

指導者 浜岡 恵子

日時 平成28年11月19日(土) 第2校時(11:00～11:50)

年組 中学校第1学年1組 計40名(男子18名, 女子22名)

場所 中学校第1学年1組教室

単元 「話し合いで解決しよう」 ～話し合いで詩を読み深めよう～

単元について

「話し合いで解決しよう」は、「話すこと・聞くこと」の力を伸長する単元として今年度第1学年に設定した。もちろん小学校の課程においても、「話すこと・聞くこと」の学習は発達段階を考慮しながらステップアップするようさまざまな言語活動が行われており、各教科や道徳、学級活動において、生徒は多くの経験を積んでいる。特に、「話し合い」は、生徒の学習意欲が高まるとともに、生徒相互の理解が広がったり深まったりするため、教師は授業の中で話し合いの場面を多く取り入れている。しかし、実際に生徒が話し合う様子を観察していると、結論を重視するあまり、話し合いの過程において、それぞれの意見をしっかりと吟味して結論を出していくというよりも、グループの中で、積極的に話し合いを進めていく者の意見に他の者が消極的に同意するということが少なくない。学級のメンバーで話し合う際には、日頃の人間関係も影響し、なおさらその傾向が強くなる。

本学級の生徒は、国語への関心・意欲が高く、授業にも真面目に取り組んでいる。また、自分の考えを表現することにも積極的な生徒が多い。「話し合いをしてよかったと感じた経験があるか」の問いに「ある」と肯定的に答えた生徒は93%にもものぼった。「班で協力して1つの問題が解けた」「自分の意見とは違う他の点から考えることができると感じた」「自分の意見に『それはいいね』など声をかけてくれた」等の体験が、話し合うことの良さや大切さの実感に結びついている。一方、少数ではあるが否定的な回答をした生徒の経験を見てみると、「話し合いの中に入れなかった」や「話し合いがまとまらず分解していった」ことを挙げていた。生徒は「良い話し合い」のイメージはあるものの、実際にそのような話し合いを行うために、自分がどのような役割を果たすと良いか、そして実際にそれができているかという点には自信が持てない現状が浮かび上がってきた。

そこで、今回の学習では、次の二点に重点をおいた指導を行う。一つ目は、話し合いの様子を互いに観察する活動を通して、「良い話し合い」の手立てを確認すること。二つ目は、話し合うことで課題が解決できる、あるいは、解決できなかったとしても話し合っ得た自分たちの結論に価値が見いだせるようにすることである。さまざまな課題を解決する方法の1つとして、話し合いが有効であることを実感することで、自信をもって話し合いに臨めるよう指導したい。

指導目標

1. 良い話し合いについて仲間と共有することを通して、話し合いにおける態度や会話のスキルを自覚できるようにする。
2. 課題を解決するための方法として話し合うことが有効であることを認識し、仲間と協働する意欲を高めることができるようにする。

指導計画(全5時間)

1. 「良い話し合い」とはどのような話し合いなのか共通認識をもつ…………… 1時間
2. 課題を解決するための「話し合い」を実践する…………… 3時間(本時は2時間目)
3. 振り返り、まとめ…………… 1時間

本時の目標

まど・みちお「おばけならいうだろう」についての課題を解決するための話し合い（班，クラス全体）を通して，自分の読みが変容したことを意識化できるようにする。

協働的問題解決を生起させるための手立て

グループ学習の前に，個人で考える時間を確保し，メンバー全員が話す内容をもっていることが第一の手立てである。その際，考えたことだけではなく，考えたけれどもよくわからなかったこと＝疑問も，話し合いで大切な内容であると教師が価値づけしてやることも必要である。さらに，話し合うことで，作品の読みが変容したことを，生徒自身で認識できるようにすることが第二の手立てである。

学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点（◆評価）
<p>〔全 体〕 10分</p> <p>1. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し合いで解決しよう ～話し合いで詩を読み深めることができる！？～</p> </div> <p>2. 「おばけならいうだろう」を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まど・みちおの他の作品を知っておく ・詩の言葉に注目し，各連の構成がどのようになっているか読み取っておく 	<p>○「良い話し合い」について，前時までの学習を振り返り，本時の課題を確認する。</p> <p>○まど・みちおの他の作品を二編紹介し，親しみをもたせるとともに，やさしい言葉の選び方に注目させておく。</p> <p>「ぞうさん」「一ねんせいになったら」</p> <p>○おばけ の部分を隠した題名を示し，内容を予想させる。</p> <p>○各連の最後「 いうだろう」のように隠した状態で一連ずつ生徒に詩を提示する。（板書，ワークシートとも）</p> <p>○各連の構成と関係に気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各連 1， 2 行目「えんぴつ」と「けしごむ」の並び順 ・各連 4 行目「と <u>がいった</u>」「と <u>ならいうかな</u>」「と <u>ならいうだろう</u>」という断定する結びと予想する結び
<p>〔個 人〕 3分</p> <p>3. 各連の にあてはまるのは誰なのか予想する</p> <p>〔4 人班〕 15分</p> <p>4. 各連の にあてはまるのは誰なのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で考えたことをもとに話し合う。 	<p>○4つの連の空欄に入れる言葉は，思いついたところから入れて良いことを言う。</p> <p>○頭に浮かんだ言葉はすべて書いておくよう指示する。</p> <p>○まずは，それぞれが考えた言葉を出し合わせる。</p> <p>○さまざまな意見が出るのが予想されるが，この時点でどれが一番詩に当てはまりそうかを考</p>

<p style="text-align: center;">↓</p> <p>・第一連の が「おばかさん」であることを知る。</p> <p>〔全 体〕 15分</p> <p>5. 各班の意見を交流する。</p> <p>6. 空欄に入る言葉を知る。</p>	<p>えるよう促す。</p> <p>○話し合いの方向を修正させる。</p> <p>○修正が難しそうな場合は再度構成を確認し、第二連が「おばかさん」と対義語になるものであることに気づかせる。</p> <p>○各連ごとに2班ずつ意見を発表させる。また、別の意見がある班は追加して発表させる。</p> <p>○出てきた意見に共通点があるか考えさせる。</p> <p>○単に正解が出せたかどうかより、答えのズレがどうして生じたのか、次の振り返りにつながる声掛けをする。</p>
<p>〔個 人〕 5分</p> <p>7. 本時の学習を振り返る。</p> <p>・「話し合い」によって、自分の考えが深まったのかという観点で学習を振り返る。</p>	<p>◆自分の考えが深まった、あるいは深まらなかったとすれば、その原因は何かということに気づくことができるか。</p> <p>○今日の学習で生まれた新たな疑問を、次時の課題にすることを予告する。</p>

本時の教材

と えん けし お ン り ば び り け っ り なら つ を なら つ っ っ いう た の だろ か に う か の かな	と えん けし せん ン り せい び り が つ を いた つ っ っ た た っ た だ っ た っ た だ から	と えん けし お ン り ば び り け っ り なら つ を なら つ っ っ いう た の だろ か に う か の かな	「おばけならいうだろう」
---	--	---	--------------

まど・みちお